



薬

物

動

態

R18

ADULT ONLY | ————— |



今日も頑張り
ましたね

先生、
お疲れ様です

ミヨもお疲れ様

今日は本当に
仕事が多すぎた
ミヨがいてくれて
本当に助かった

残りの時間は
ゆっくり休もう

ちよっとお手洗い
に行ってくる

はい…
わ、私紅茶を
入れてきます!

ワイルドハント芸術学院
特殊交易部部长

桜井ミヨ

今日は絶好の
チャンスだ…





本当に
いい子だね！

ミヨ...



知ってるんだ
先生のお財布に...

『アレ』がたくさん
忍ばせてあることを



単なる金運アップ
のためですって...

真っ赤な嘘...
本当に卑怯な大人だ



ミヨ！
聞いてくれ！



でも...
私も人のことは言えない...



さっきいい
恋愛小説のアイデア
を思いついた！

あ...え...
そうなんですか...

せ、先生！
紅茶が入りました！
飲みながら
話しましょう...
危なかった...

ごめんね、先生
これも計画の一部だ

いいかいミヨ――

恋愛小説では
ストレートな
告白じゃダメだ

キャラクターたちに
会話を重ねさせて
好感度を上げて

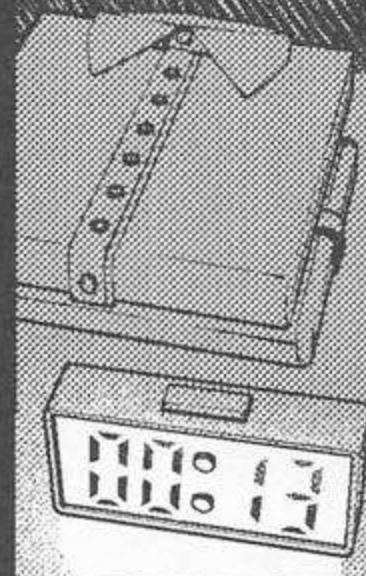
たまにプレゼントを贈ったりして
特別な日には
特別なイベントがあつて

最後に心の中にとある
神秘的な事件で告白してこそ
特別なCGが出てくるんだ

先生が今話してる
のは本当に恋愛小説の
ことなの…?

興味のある話題になると
止まらなくなるんだね…

ところで…
そろそろ時間だ…



しまった！

寝落ちた…！

今、何時…？

ミヨ…っ！服は！
どういう状況なんだ？

まさか俺また
何かやらかした…？

スヤ…

ど、どうしよう…
俺は一体何を
してしまったんだ…

話している途中で
寝てしまった…

…うう

せん、先生…？

うっ…

ミヨが起きちゃった！

まずい！

とにかくまず謝る！

ごめんミヨ！

言い訳に聞こえる
かもしれないけど

俺も今の状況がよく
分からなくて…
学校側は俺から説明する！

だからお許し
ください！

違いますよ

先生

私たち…

まだして
いませんよ？

何が何だか分からないけど
生徒とこんな風に
添い寝してるなんて…

ま、まだなのか…?

ふう…

よかったよかった…

ん…?

…ミヨが言ってる
「まだ」って
どういう意味?

私はもうこんな風に
先生の隣に
横たわっているのに…

どうして
そんな反応なの?

先生はいつも私に
優しすぎて
でも今のその優しさは逆に…

逆にムカつきます!
他の女の子には散々手を
出したりするくせに!

撮☆れ☆た

もしかして
ミヨでは

先生…!

先生の言う「よかった」
ことはどういう
意味なんですか?

え——と
それは…その…

とにかく
一度落ち着こう…

先生…

ダメなん
ですか?

耐えられ
なかった

俺、
教師として
の自制心は…

こんなにも脆いもの
なのかい？

ぷわ♡

先生♡

それにしても
ミヨの体…

すごく甘くて
いい香りがする

嬉しい…
もつと抱きしめて
ください…

ぷりぷり…

ごめん…

俺はずっと
勘違いしたようだ…

先生ったら

こんな時は
強気でいかないと

恋愛小説じゃ
ないんですから…

強気…か？

ドキ
は…

ヨリ

すり…

ス…

むに♡

♡ちゅ♡

は

ドキ

普段は制服を
着ているから
気づかなかった

あ♡♡

モッ♡

さっきから胸を
揉んでばかり…

ねえ…
先生…

ミヨの胸は意外と
成長がいい…

もしかして
胸にしか興味
がないんですか？

ドキ♡

くそ…挑発されてた！
ミヨが言い出した
ことだからな

ウズ

ぷんぷん



でも、先生は
まったく予想も
してなかった…

そこ…んっ
…だめ、です…

ぬち

くっ



ミヨは本当に
こんなに悪い子
なんだね

中はもう
びしょ濡れ…

んっ…先生…
気持ちいい…

おっ

…そこっ



先生♥指…
気持ちいい…

は

は

いっ…ん♥
いっちゃん♥
んっ…



正直…

先生はちよっと
ガッカリした

えっ…



先生…うっ
ごめんなさい…

うん…うう
先生をガッカリ
させちゃって…

ミヨが謝る
必要はないよ

ミヨの気持ち
を勝手に無視して
しまったのは

俺が思い込み
すぎていた…

ううー…

ミヨの想いに
ちゃんと応え
なきゃいけない…

これまでずっと
逃げていた俺のせいだ…

確か、
ここに置いてた…

あれ…おかしいな
俺のゴムは？

……

先生は何か探して
いるんですか？

もし「アレ」を探して
いるのなら…
要りませんよ？

ん？

カシッ

……？

いや…流石に
それはないと…？

ミヨをどう慰めるかを
考えているけど…
なんだか様子がおかしい

それに、
ゴムがない方が…

気持ちがいい
じゃないですか？

先生だから
大丈夫です…

最後に「ナカ」では
なければいいんですよ

違う違う
今日のいつから…絶対に
何が間違ってるんだ

カシッ♡

先生…先生…
そこ好き、あんう

あ♡

あっ♡
気持ちいい…♡

ばん

このままだと…

シヨ…!

一度ストップして
ちゃんと話し合おうよ!

ミヨ待って…
生のままだと…うっ
やっぱりこんなのはダメだ…

マズい!このまま生で
セックスをするんだ…

しかもミヨに
押し倒されて動けない…

先生は特製の「紅茶」を
飲んだはずなのに…

こんな状況でも
冷静でいられるなんて…

さすが
先生です♡

でも、先生がそんなに冷静だと
実は…少し傷ついちゃう

だから今日は
絶対に逃さないよ♡

先生…気持ち
いいでしょう?

ぬ♡

もしイっちゃいそうなら
ちゃんと
教えてくださいね

じゃないと
できちゃうかも
しれませんよ♡

は…

だ…駄目だ、
まだ笑うな…

ここからが…本番

先生が永遠に私のそばだけに
いるようにする計画

「大人」なら…
ちゃんと責任を
取ってくださいね♡

奥で擦れて…気持ちいい…
自然と腰が動いちゃう…

は♡

は♡

は♡

でも…
よく考えると…

先生の肉棒…
温かい…♡

嫌われるかな？

先生…どうすればいいの…
私、本当はすごく不安だ…

本当に「そんなこと」
をしてたら…先生に…

先生は
もうムリだ！
止まらないとっ

ぴん♡

♡♡♡

…♡♡♡！

ぐう♡

ぐう♡

ぐう♡

うう…先生…
もし先生に嫌われたら…

パッ

その可能性は
排除できない

ミヨ!
早く抜いてくれ…!

今の成果でも
もう十分すぎるはず

ふう…

やっぱり一旦
引き上げるべきか…

でも万が一先生が…
他の女の子に
奪われたら…!

それだけは
絶対だめ!
止まっちゃダメだ、
ミヨ!



先生、ごめんなさい…
ミヨはただの
悪い子じゃなく…

わがままで
悪い女なんだ…

先生…

もう手遅れ
なんです…

ううこれは全部、
他の女の子にモテすぎる
先生が悪い…

だから先生は…

もう我慢するのは
禁止ですから♡

????????????

ミヨ！待っ！
手遅れって…

ああ…もう限界だ…
逃げ場がない



ミヨ……!

えっ……

先生の……

今日の紅茶……
それに俺の財布に
入っていたゴム

嘘……なんでまだ
大きくなれるの?

やっぱりミヨが
細工したんだな?

これから何が起きるか
よく分かってるよね?

だめだめ!
こんな大きい……どうして?
情報が間違っていたの?

ゼキ

トロ

元のサイズより
突然何倍も大きくなって……
怖い——
こんなの、絶対無理!

ゴクリッ

元の計画は
確かにそうだったけど…
そうじゃない…

まさか…？

「特製魔法薬」だ！

カノエ先輩に調合を依頼した…
先生の意志力を
低下させるための薬

まさかこんな
効果があったなんて…？
しかも薬の効果は今…！

カノエ先輩いいいいい!!!
こんな変数を想定外にして
しまうなんて、私のバカ！

せん、先生！
待って…

すぐに…

返り討ちに
あうなんて!!

理性を失った発情肉棒に
先生の意地悪なセックス…

うおお♡嘘っ…
いきなりイっちゃった♡
全然耐えられない…

猛烈に突き上げられ…
それが何度も繰り返されて…

いおぢゅ♡♡♡
こんなの…
知らなかった…♡

じわじわと引き離されて…
不意を突かれた瞬間に…

それに、何で…
マンコが異常に熱い…

は

は

は

む

頭がおかしく
なってる

は

は

は

全身から
汗が出てる

は

そうだ、
あの紅茶…

は

私も飲ん
じやった…

せい

びゅ
びゅ
♡



ミヨ…

一体どうして先生に
こんないたずらを
したのか？

先生ごめんなさい…
ミヨを許して、先生…

まだダメ
ですか♡

ダメだ…体が勝手に
こんな挑発的なこと
をしてしまう…



くそ！ミヨは
全然反省してない！

うおお♡だって♡
どうしてもせん、
先生と…ずっと一緒に
いたかったから…♡

やっぱり、先生がもっと
教育してくれる♡♡♡

俺にとって一番
大切な生徒なのに！

こんな風に大人を
からかうなんて！

あん♡違う…♡
先生ごめんなさい♡



俺は、ミヨと一緒に
買い物デートをしたり…！

もういつちやう♡

お願い…んっ♡
先生♡許して♡

一緒に小説を書いたり…！

いつちやういつちやう♡

一緒にたくさん思い出
を作りたいかったのに…！

うおっ♡そこは
ダメです…お♡

いった…♡うんっ♡
またいつちやった♡

おほっ…♡先生♡
息、息が…♡

絶頂しすぎて
狂いそう♡
死んじやう♡♡♡

くっ…♡んん♡
うおっ…♡♡♡

先生♡♡♡♡
好き好き好き♡

ん…先生♡
もう無理です…

ミヨ…
まだ終わってないぞ





中：中に♡先生♡
全部♡中に出して
ください♡♡♡

中に出してえ♡♡

こんなの…
絶対できちゃう♡♡♡

ネバー…



よかったね…
先生♡

これから
ずっとずっと
一緒だよ♡

そういえば今日は…

もちろん、
計算通りの危険日だもん♡

「先生が永遠に私のそばだけに
いるようにする計画」…

当時はそう呼んでいたね

この「あなた」をずっとずっと
私のそばだけにいる
ようにする計画は…

あの時の先生の返事は
完全に私の予想外だった…

先生はミヨが思ってる以上
ミヨのことが好きなんだよ？

先生には少し
申し訳ないと
思ってるけど…

実は私、全然
反省してないんだ♥

たって、キヴォトスには
可愛い女の子が多すぎるから
もし他の誰かに先にとられたら…

この「先生」を…

—いいえ

余計な変数が増えて
しまわないか？

奥付

「薬物動態」

サークル「芋能(せんのう)会」
ゆせん

連絡先

Twitter(X) | @yuchien_R18

Email | yuchienr18.work@gmail.com

Pixiv | 122608628

発行日 2026年8月15日

発行 ゆせん

印刷 ねこのしっぽ

翻訳 企鵝女王(ペンギンクイーン)さん



無断転載、複写、複製、配布などの行為を固く禁じます。
内容は全てフィクションであり、
実在の人物や団体とは一切関係ありません。
18歳未満の方の閲覧は固く禁じます。



YUChienR18.work

